

☐大会第7日目 9 月 21 日 (日)

【評】東北が5対3で気仙沼を下し、決勝進出。序盤は、両校ともに得点を重ね、主導権争いが目まぐるしく動く展開。東北は初回到四球と盗塁、長短打がからみ3点を得点し逆転。3回と6回到追加点を重ねた。6回から2番手として登板した和泉が気仙沼の勢いを止めた形となった。気仙沼は、初回到1点を先制し、5回にも連打で2点をとった。中盤まで安打数が上回り、打線のつながりを見せたが、序盤の残塁が響いた結果となった。投手の阿部は9回到完投し粘り強い投球を見せたが及ばなかった。